

平成30年上期 景気動向調査結果

～業況は不安定、仕入価格の上昇や労働力の確保難が課題～

和歌山商工会議所

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 平成30年1月1日から平成30年6月30日(平成30年上期)
- 調査実施期間 : 平成30年7月6日から平成30年7月27日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 524事業所
- 回答数 : 回収数 149 (回収率 28.4%)

業 種		従業員数					合計
		0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	
製 造 業		8	9	13	8	11	49
非 製 造 業	建 設 業	5	6	6	3	1	21
	小 売 業	4	5	2	1	3	15
	卸 売 業	3	4	3	3	1	14
	サービス業	10	7	4	7	3	31
	そ の 他 業	4	5	4	1	5	19
合 計		34	36	32	23	24	149

● 概 要

平成30年上期(1月～6月)の景況感は、製造業では、新規開拓や販売戦略の見直し等により僅かな改善が見られるものの、非製造業で競争激化、仕入単価・原材料の上昇、利益率の悪化、人手不足等により大きく悪化したことが全体的な景況感を押し下げ、不安定な状況となっている。

また、直面する課題として「需要の停滞」、「仕入・原材料単価の上昇」、「人件費の増加」、「従業員・熟練技術者の確保難」について、業種にかかわらず抱えていることが伺える。

先行きについては、全体的な景況感としては改善するとの見通しがあるものの、製造業では「先行き不透明」との声が聞かれ、売上や採算の悪化について懸念が残る状況である。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・事業承継への取組みを積極化(自社株の買戻し、贈与税対策など)
- ・働き方改革への取組み
- ・BtoC取引きの増加を目指す
- ・得意分野での受注増に努める
- ・新社屋の建設準備
- ・安全衛生の徹底
- ・設備投資による生産高のUPを目指す
- ・新規取引先の開拓
- ・従業員(職人)の確保・育成(人材不足への対応)
- ・新商品の開発
- ・不採算部門・商品の縮小・廃止

●非製造業

- ・外国人実習生の雇用による生産性の維持・確保
- ・県外営業所の充実
- ・人員・人材の確保
- ・労働時間の短縮
- ・高齢化対応(若者雇用)
- ・海外・県外からの誘客対策
- ・給与の増加
- ・健康経営の推進

※「DI値」とは

デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

【 業況DI値 】

今期(H30年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 7.4 前期比 ▲17.3)
製造業	(今期 26.5 前期比 1.0)
非製造業	(今期 ▲2.0 前期比 ▲26.3)
建設業	(今期 0.0 前期比 ▲27.8)
小売業	(今期 6.7 前期比 ▲39.5)
卸売業	(今期 ▲7.1 前期比 ▲48.3)
サービス業	(今期 6.5 前期比 ▲3.0)
その他業	(今期 ▲21.1 前期比 ▲44.2)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 好転 やや好転 不変 やや悪化 悪化 無回答

今期(H30年1月～6月)の状況

製造業で26.5(前期比+1.0)、非製造業で▲2.0(前期比▲26.3)、全業種で7.4(前期比▲17.3)となり、非製造業が前期に比べ大幅に悪化している。

製造業でやや好転した要因としては、「新規開拓が進んでいる」、「直接販売の顧客が増え、単価を押し上げた」、「販売戦略の見直し」等が挙げられる一方、非製造業での悪化要因としては、「受注競争の激化、受注物件の利益率の悪化」、「販売不振、受注困難」、「需要の停滞」、「仕入価格の上昇」、「減収傾向が続く中、経費増と人員不足が経営を圧迫」、「株式相場の影響」等が挙げられている。

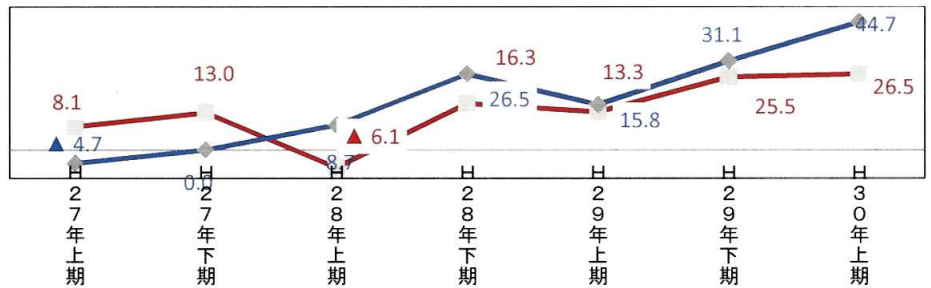
※前期比とは、前回調査(平成30年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 今期のDI値

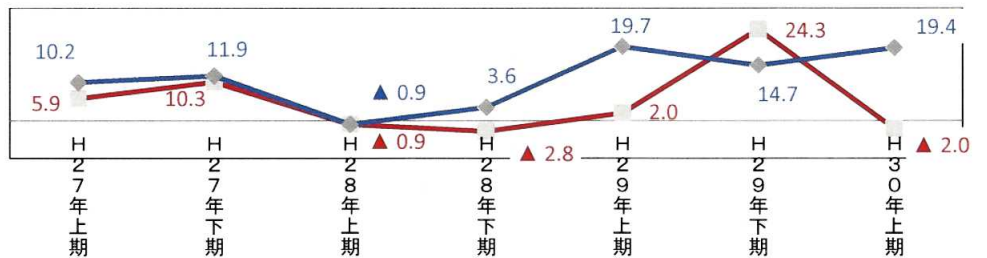
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 今期のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

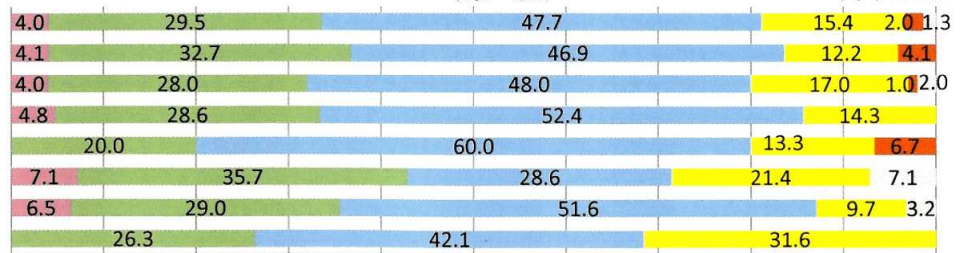


来期(H30年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し 16.1 今期比 8.7)
製造業	(見通し 20.4 今期比 ▲6.1)
非製造業	(見通し 14.0 今期比 16.0)
建設業	(見通し 19.0 今期比 19.0)
小売業	(見通し 0.0 今期比 ▲6.7)
卸売業	(見通し 21.4 今期比 28.6)
サービス業	(見通し 25.8 今期比 19.4)
その他業	(見通し ▲5.3 今期比 15.8)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

好転 やや好転 不変 やや悪化 悪化 無回答

今期と比較した来期(H30年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では6.1ポイント悪化の20.4、非製造業では16.0ポイント改善の14.0、全業種で8.7ポイント改善の16.1と見通している。製造業の悪化要因として、「先行きの見通しが不透明」等が挙げられる一方、非製造業では、小売業以外は今期比より改善の見通しとなった。

【 売上DI値 】

今期(H30年1月～6月)のDI値

(売上)

(単位: %)

全業種	(今期 18.1 前期比 ▲ 9.9)	12.1	32.2	28.9	17.4	8.7	0.7
製造業	(今期 34.7 前期比 4.9)	18.4	36.7	24.5	10.2	10.2	
非製造業	(今期 10.0 前期比 ▲ 17.2)	9.0	30.0	31.0	21.0	8.0	1.0
建設業	(今期 14.3 前期比 ▲ 13.5)	9.5	33.3	28.6	23.8	4.8	
小売業	(今期 26.7 前期比 ▲ 4.1)	6.7	40.0	33.3	6.7	13.3	
卸売業	(今期 21.4 前期比 ▲ 31.5)	7.1	35.7	35.7	21.4		
サービス業	(今期 9.7 前期比 ▲ 7.0)	9.7	29.0	32.3	19.4	9.7	
その他業	(今期 ▲ 15.8 前期比 ▲ 38.9)	10.5	15.8	26.3	31.6	10.5	5.3

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(H30年1月～6月)の状況

売上DI値は、製造業で34.7(前期比+4.9)、非製造業で10.0(前期比▲17.2)、全業種で18.1(前期比▲9.9)となり、製造業では改善したものの非製造業では、その他業以外はプラスのDI値を示したものの、全体で前期より悪化した。その他業の悪化要因としては、「相場が不安定」、「顧客の減少」等が挙げられた。

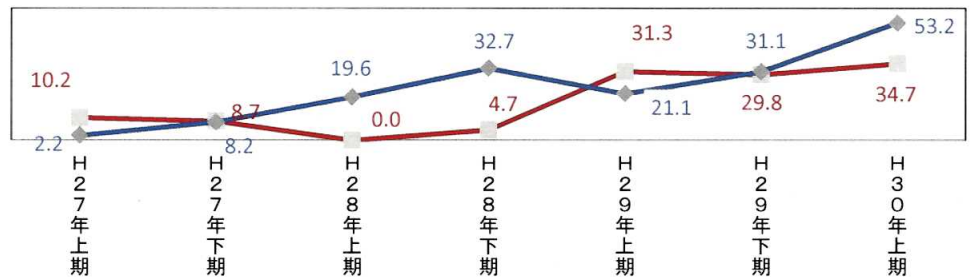
※前期比とは、前回調査(平成30年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

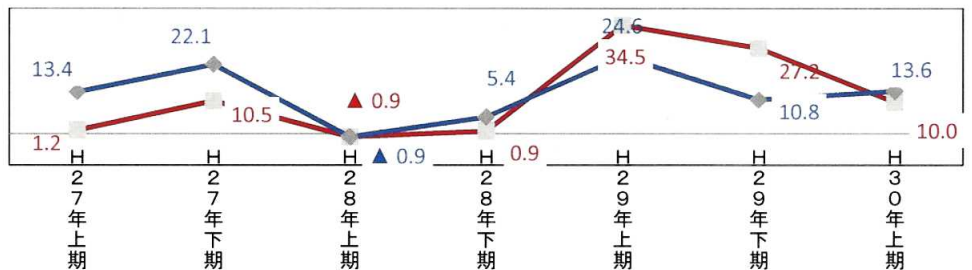
■ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年7月～12月)の見通しDI値

(売上)

(単位: %)

全業種	(見通し 24.8 今期比 6.7)	5.4	36.2	39.6	14.1	2.7	2.0
製造業	(見通し 32.7 今期比 ▲ 2.0)	4.1	46.9	30.6	14.3	4.1	
非製造業	(見通し 21.0 今期比 11.0)	6.0	31.0	44.0	14.0	2.0	0.0
建設業	(見通し 28.6 今期比 14.3)	4.8	38.1	42.9	14.3		
小売業	(見通し 26.7 今期比 0.0)		40.0	46.7	6.7	6.7	
卸売業	(見通し 28.6 今期比 7.1)	14.3	28.6	35.7	14.3	7.1	
サービス業	(見通し 16.1 今期比 6.5)	6.5	25.8	48.4	16.1	3.2	
その他業	(見通し 10.5 今期比 26.3)	5.3	26.3	42.1	15.8	5.3	5.3

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で2.0ポイント悪化の32.7、非製造業で11.0ポイント改善の21.0、全業種で6.7ポイント改善の24.8と見通している。非製造業では全ての業種で、維持・改善を見通している。

【 採算DI値 】

今期(H30年1月～6月)のDI値

(採 算)

(単位: %)

全業種	(今期 2.0 前期比 ▲14.0)	6.7	21.5	43.6	17.4	8.7	2.0
製造業	(今期 12.2 前期比 ▲6.9)	10.2	26.5	36.7	10.2	14.3	2.0
非製造業	(今期 ▲3.0 前期比 ▲17.6)	5.0	19.0	47.0	21.0	6.0	2.0
建設業	(今期 ▲4.8 前期比 ▲38.1)	14.3		66.7	14.3	4.8	
小売業	(今期 13.3 前期比 ▲17.5)	6.7	20.0	53.3	6.7	6.7	6.7
卸売業	(今期 7.1 前期比 ▲16.4)		35.7	35.7		28.6	
サービス業	(今期 ▲3.2 前期比 3.9)	9.7	19.4	38.7	25.8	6.5	
その他業	(今期 ▲21.1 前期比 ▲51.9)	5.3	10.5	42.1	26.3	10.5	5.3

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H30年1月～6月)の状況

採算DI値は、製造業で12.2(前期比▲6.9)、非製造業で▲3.0(前期比▲17.6)、全業種で2.0(前期比▲14.0)となった。非製造業における悪化要因として、「販売不振」、「受注物件の金額、利益率の悪化」、「仕入価格の上昇が急速で販売価格に転嫁できない」、「自然災害の影響」、「燃料費の高騰」等が挙げられている。

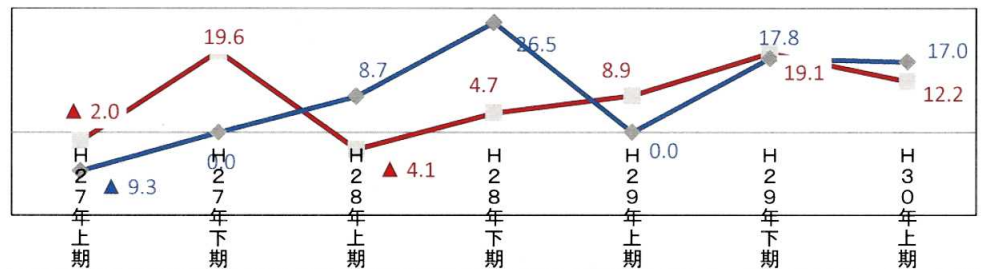
※前期比とは、前回調査(平成30年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

■ 実際のDI値

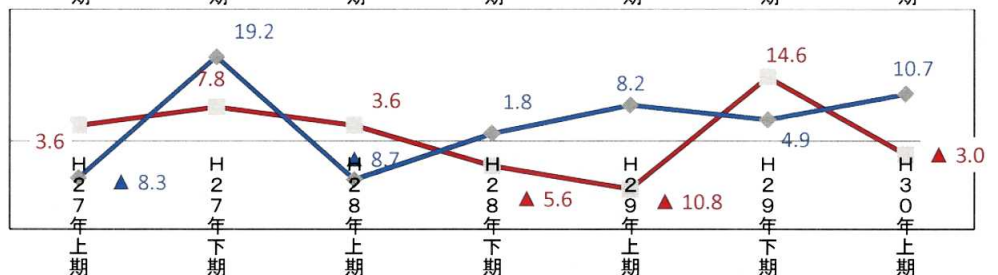
■ 前期調査時点での今期見通し



非製造業

■ 実際のDI値

■ 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年7月～12月)の見通しDI値

(採 算)

(単位: %)

全業種	(見通し 9.4 今期比 7.4)	3.4	24.8	49.7	16.1	2.7	3.4
製造業	(見通し 10.2 今期比 ▲2.0)	2.0	30.6	42.9	18.4	4.1	2.0
非製造業	(見通し 9.0 今期比 12.0)	4.0	22.0	53.0	15.0	2.0	4.0
建設業	(見通し 9.5 今期比 14.3)	4.8	19.0	61.9	14.3		
小売業	(見通し 0.0 今期比 ▲13.3)		20.0	60.0	13.3	6.7	
卸売業	(見通し 14.3 今期比 7.1)	14.3	14.3	57.1	14.3		
サービス業	(見通し 12.9 今期比 16.1)	3.2	25.8	48.4	16.1	6.5	
その他業	(見通し 5.3 今期比 26.3)		26.3	42.1	15.8	5.3	10.5

※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で2.0ポイント悪化の10.2、非製造業で12.0ポイント改善の9.0、全業種で7.4ポイント改善の9.4と見通している。非製造業を業種別で見ると、小売業以外の業種は全て改善を見通しており、要因として「在庫適正化への取り組み」、「新店舗のオープン」、「原価低減への取り組み」、「取引条件の改善交渉」等が挙げられている。

【 資金繰りDI値 】

今期(H30年1月～6月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H30年1月～6月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で10.2(前期比▲6.8)、非製造業で3.0(前期比▲9.6)、全業種で5.4(前期比▲8.6)となった。製造業、非製造業ともに今期はプラス域で推移しているものの、前期比はそれぞれ悪化した。非製造業を業種別で見ると、「サービス業」と「その他業」においては改善した。

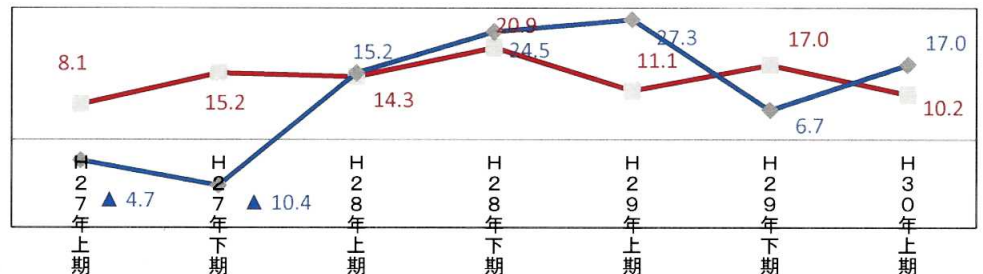
※前期比とは、前回調査(平成30年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

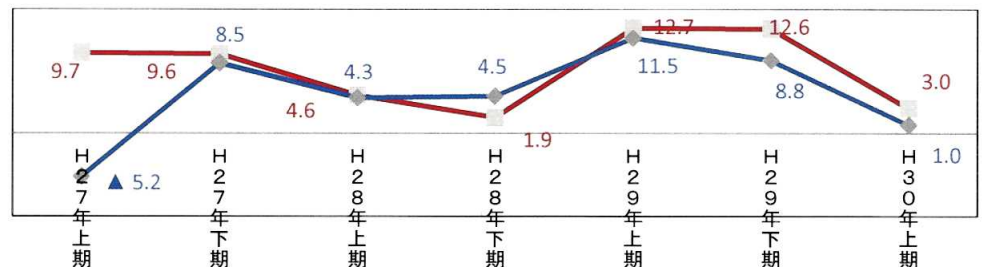
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年7月～12月)の見通しDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で6.1ポイント改善の16.3、非製造業で3.0ポイント改善の6.0、全業種で4.0ポイント改善の9.4と見通している。非製造業では「その他業」以外で維持・改善を見通しているものの、小売業はマイナス域で推移している。

【 在庫DI値 】

今期(H30年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(H30年1月～6月)の状況

在庫DI値は、製造業で2.0(前期比+21.1)、非製造業で▲7.0(前期比▲6.0)、全業種で▲4.0(前期比+2.7)となった。製造業では改善、非製造業では全ての業種で前期より悪化しており、とりわけ「小売業」、「卸売業」、「サービス業」では在庫調整が適正に進んでいない状況である。

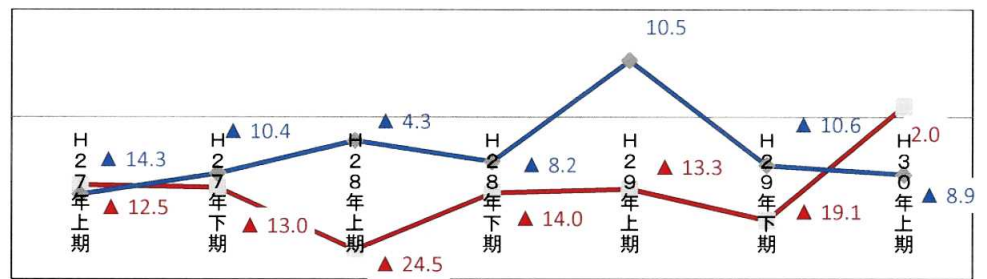
※前期比とは、前回調査(平成30年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

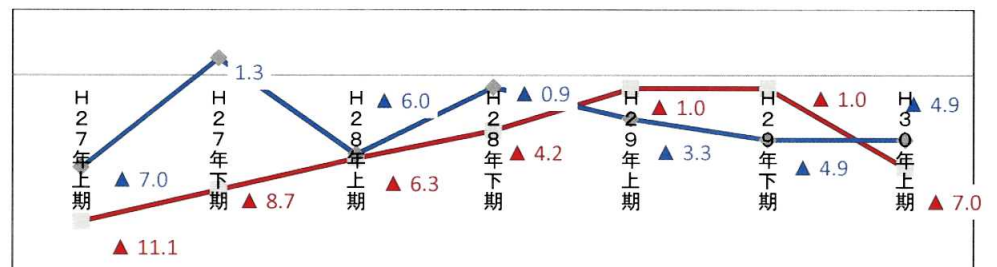
— 前期調査時点での今期見通し



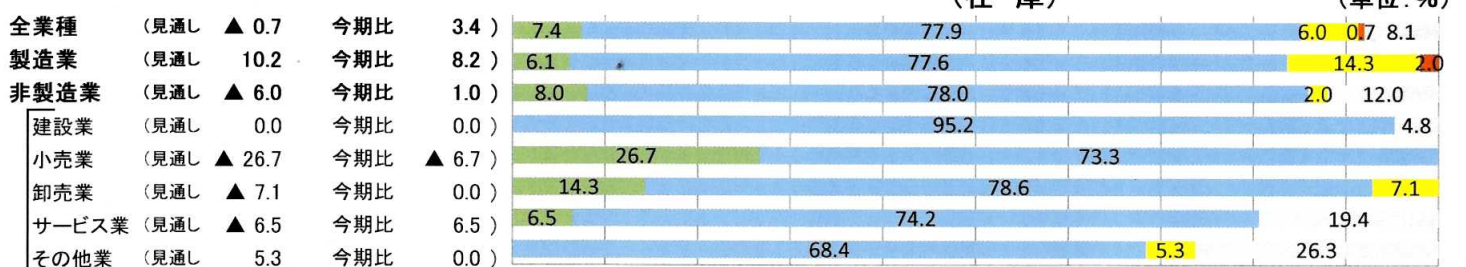
非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で8.2ポイント改善の10.2、非製造業で1.0ポイント改善の▲6.0、全業種で3.4ポイント改善の▲0.7と見通している。非製造業では「小売業」が更なる悪化、「卸売業」、「サービス業」もマイナス域で推移しており、在庫の適正化が円滑には進まない状況を見通している。

【 仕入単価DI値 】

今期(H30年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 53.0	前期比 ▲ 3.0)
製造業	(今期 ▲ 81.6	前期比 ▲ 9.3)
非製造業	(今期 ▲ 39.0	前期比 0.8)
建設業	(今期 ▲ 38.1	前期比 ▲ 10.3)
小売業	(今期 ▲ 40.0	前期比 ▲ 1.5)
卸売業	(今期 ▲ 42.9	前期比 33.6)
サービス業	(今期 ▲ 48.4	前期比 ▲ 12.7)
その他業	(今期 ▲ 21.1	前期比 2.0)

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(H30年1月～6月)の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲81.6(前期比▲9.3)、非製造業▲39.0(前期比0.8)、全業種で▲53.0(前期比▲3.0)となった。製造業は前期に引き続き悪化し、非製造業では「卸売業」、「その他業」で前期に比べ改善が見られるものの、全ての業種がマイナス域で推移を続け、全体として4期連続で悪化した。

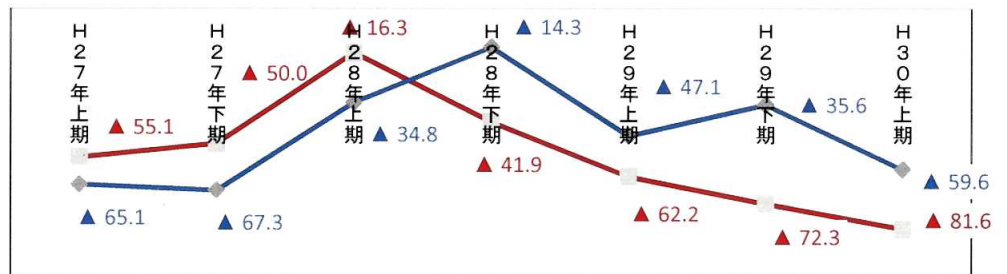
※前期比とは、前回調査(平成30年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

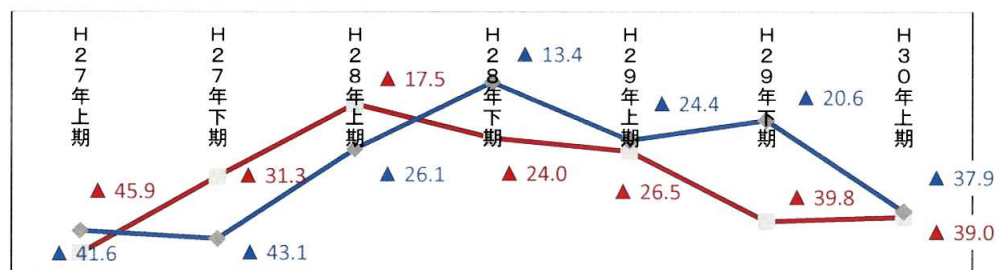
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

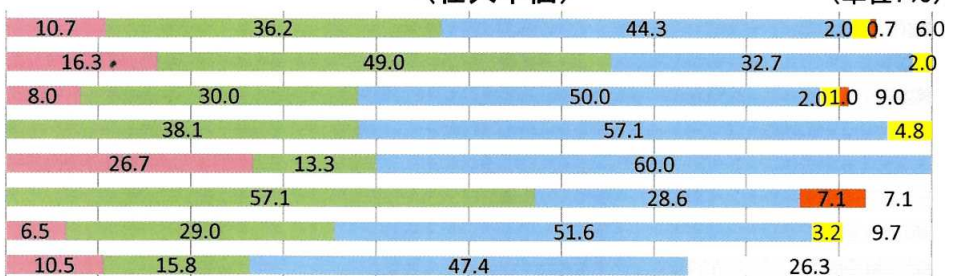


来期(H30年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲ 44.3	今期比 8.7)
製造業	(見通し ▲ 63.3	今期比 18.4)
非製造業	(見通し ▲ 35.0	今期比 4.0)
建設業	(見通し ▲ 33.3	今期比 4.8)
小売業	(見通し ▲ 40.0	今期比 0.0)
卸売業	(見通し ▲ 50.0	今期比 ▲ 7.1)
サービス業	(見通し ▲ 32.3	今期比 16.1)
その他業	(見通し ▲ 26.3	今期比 ▲ 5.3)

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で18.4ポイント改善の▲63.3、非製造業で4.0ポイント改善の▲35.0、全業種で8.7ポイント改善の▲44.3と見通している。製造業、非製造業ともに改善傾向が見られるものの、全業種がマイナス域で推移し見通しは厳しい。

【 従業員数DI値 】

今期(H30年1月～6月)のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期(H30年1月～6月)の状況

従業員数DI値は、製造業で16.3(前期比+1.4)、非製造業で13.0(前期比▲6.4)、全業種で14.1(前期比▲3.9)となった。非製造業を業種別に見ると、今期DI値は「小売業」以外はプラス域で推移しているものの、前期比では「その他業」以外全てマイナスとなり、「直面している課題(P10参照)」においても、全業種で「従業員・熟練技術者の確保難」が上位を占め、今後の業況に大きく影響を与える要因のひとつとなっている。

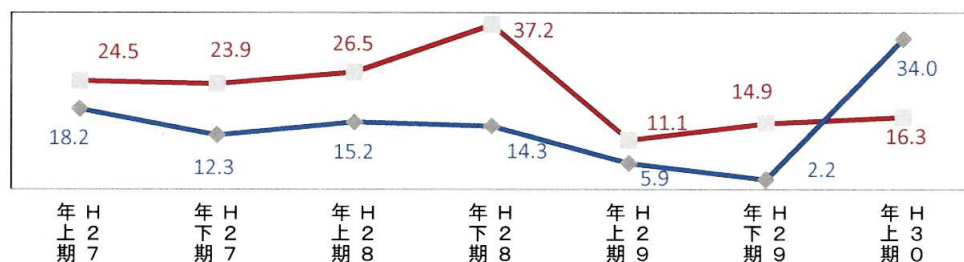
※前期比とは、前回調査(平成30年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

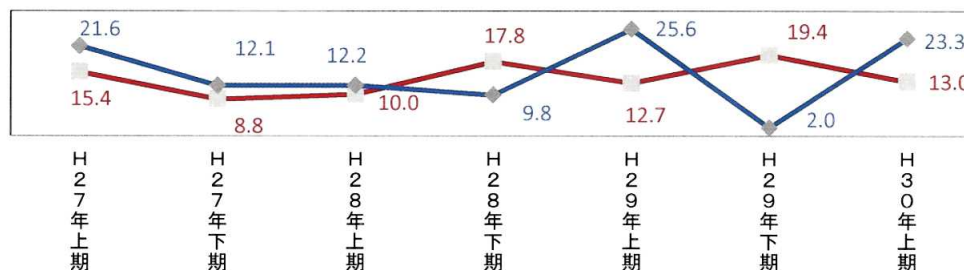
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

今期と比較した来期(H30年7月～12月)の見通し

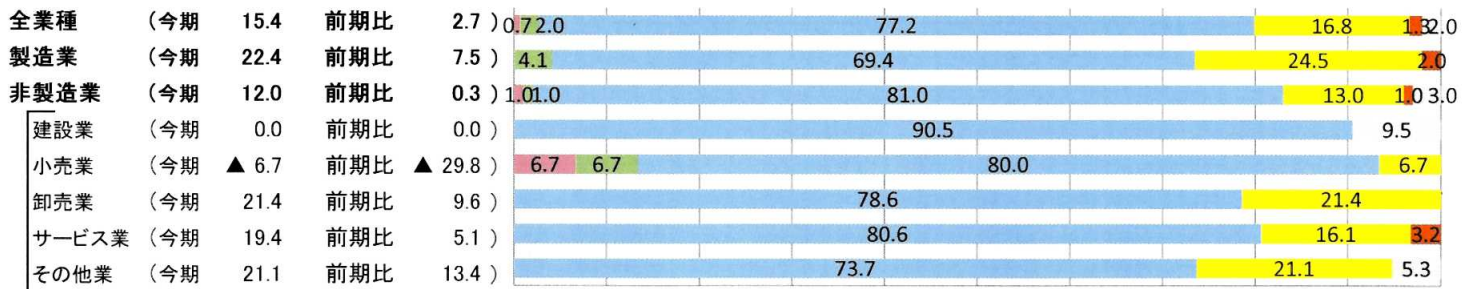
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で8.2ポイント上昇の24.5、非製造業で2.0ポイント下降の11.0、全業種で1.3ポイント上昇の15.4と見通している。非製造業を業種別で見ると、「建設業」、「卸売業」、「サービス業」で今期より下降する見通しとなった。

【 設備DI値 】

今期(H30年1月～6月)のDI値

(設 備)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(H30年1月～6月)の状況

設備DI値は、製造業で22.4(前期比+7.5)、非製造業で12.0(前期比+0.3)、全業種で15.4(前期比+2.7)となった。製造業、非製造業ともに改善したが、非製造業における「小売業」のみが悪化した。

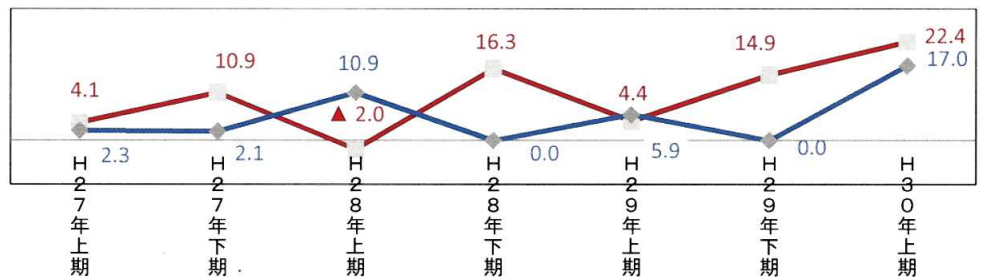
※前期比とは、前回調査(平成30年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

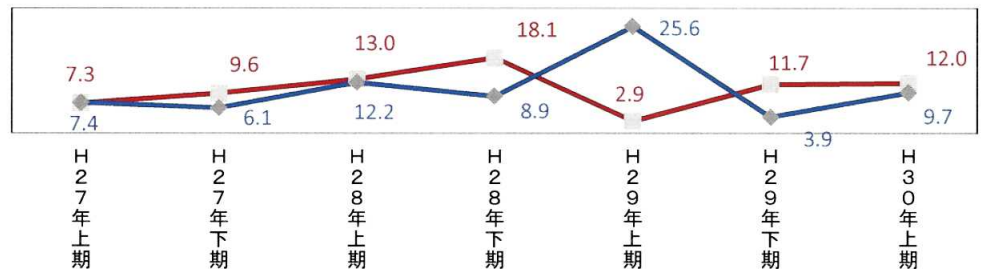
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

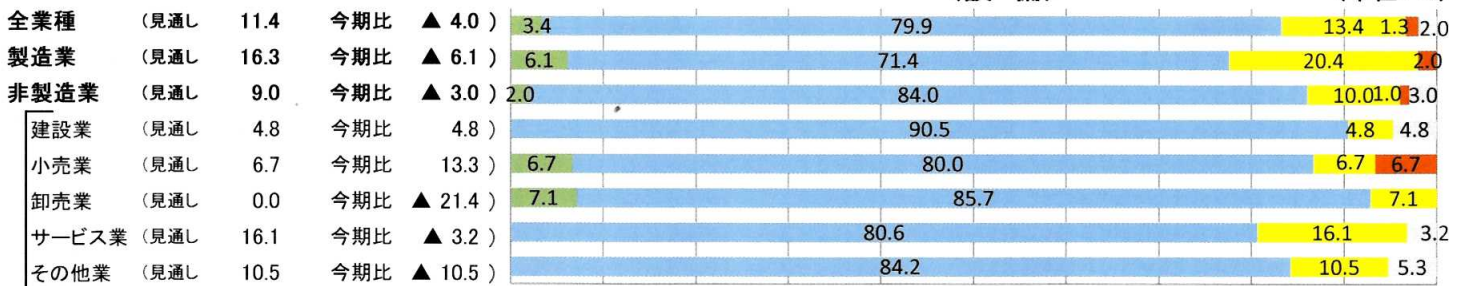
— 前期調査時点での今期見通し



来期(H30年7月～12月)の見通しDI値

(設 備)

(単位: %)



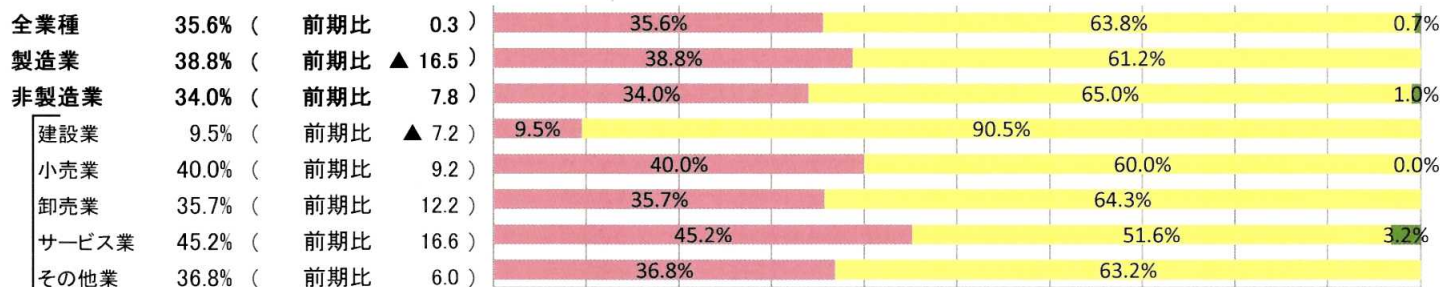
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(H30年7月～12月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で6.1ポイント悪化の16.3、非製造業で3.0ポイント悪化の9.0、全業種で4.0ポイント悪化の11.4と見通している。非製造業を業種別に見ると、「建設業」、「小売業」で改善を見通している。

【 新規設備投資 】

◆ 今期（H30年1月～6月）の新規設備投資を実施した割合

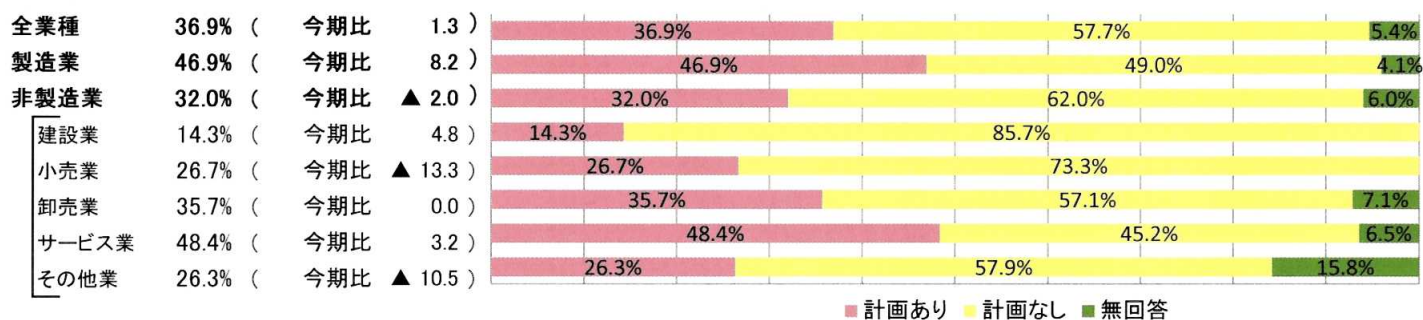


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査（平成30年1月実施）のDI値と今期を比較した増減です。

◆ 来期（H30年7月～12月）の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	4.0%	4.8%	6.7%	7.1%	0.0%	5.3%
需要の停滞	18.4%	② 20.0%	9.5%	② 26.7%	① 35.7%	9.7%	② 31.6%
為替差損	4.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
売上単価の低下	8.2%	11.0%	③ 19.0%	③ 20.0%	0.0%	12.9%	0.0%
新規参入業者の増加	2.0%	6.0%	4.8%	13.3%	7.1%	3.2%	5.3%
製品（消費者・利用者等）ニーズの変化への対応	20.4%	7.0%	4.8%	13.3%	7.1%	3.2%	10.5%
生産設備の不足・老朽化	③ 26.5%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	0.0%
原材料の不足	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	① 40.8%	③ 17.0%	② 28.6%	6.7%	① 35.7%	③ 16.1%	0.0%
下請負単価の上昇	2.0%	7.0%	② 28.6%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
官公需要の停滞	2.0%	7.0%	9.5%	6.7%	③ 14.3%	6.5%	0.0%
取引条件の悪化	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	5.3%
金利負担の増加	0.0%	1.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	1.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	5.0%	0.0%	13.3%	③ 14.3%	3.2%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	1.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	20.4%	6.0%	9.5%	6.7%	③ 14.3%	3.2%	0.0%
人件費の増加	14.3%	③ 17.0%	③ 19.0%	0.0%	② 21.4%	② 22.6%	③ 15.8%
設備の過剰	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	2.0%	1.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	14.3%	6.0%	0.0%	0.0%	7.1%	6.5%	③ 15.8%
従業員・熟練技術者の確保難	② 36.7%	① 56.0%	① 66.7%	① 40.0%	② 21.4%	① 80.6%	① 42.1%
燃料費（電気料金を含む）の高騰	4.1%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	③ 15.8%
その他	4.1%	7.0%	0.0%	13.3%	③ 14.3%	3.2%	10.5%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：平成30年1月1日から平成30年6月30日（平成30年上期）
- 調査実施期間：平成30年7月6日から平成30年7月27日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 323 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：95（回答率 29.4%）

業種		従業員数		
		0～5人	6～20人	合計
製造業		12	12	24
非製造業	建設業	8	9	17
	小売業	14		14
	卸売業	7		7
	サービス業	19		19
	その他業	8	6	14
合計		68	27	95

業況DI

今期（H30年1月～6月）のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期（H30年7月～12月）の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

売上DI

今期(H30年1月～6月)のDI値

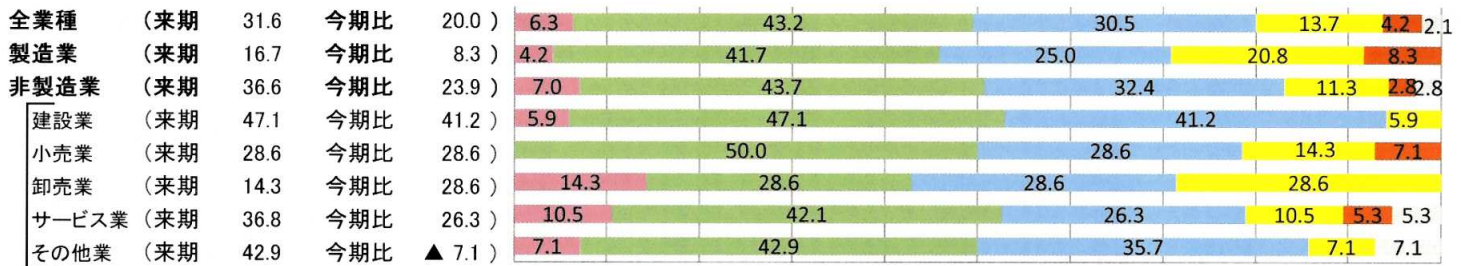
(売上)

(単位: %)



■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少

来期(H30年7月～12月)の見通しDI値



■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

採算DI

今期(H30年1月～6月)のDI値

(採算)

(単位: %)



■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(H30年7月～12月)の見通しDI値



■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(H30年1月～6月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期(H30年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

在庫DI

今期(H30年1月～6月)のDI値

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(H30年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

仕入単価DI

今期(H30年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲47.4 前期比 ▲6.6)
製造業	(今期 ▲70.8 前期比 ▲1.6)
非製造業	(今期 ▲39.4 前期比 ▲8.8)
建設業	(今期 ▲47.1 前期比 ▲22.1)
小売業	(今期 ▲57.1 前期比 2.9)
卸売業	(今期 ▲42.9 前期比 32.1)
サービス業	(今期 ▲42.1 前期比 ▲35.0)
その他業	(今期 ▲7.1 前期比 32.9)

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(H30年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲42.1 今期比 5.3)
製造業	(来期 ▲70.8 今期比 0.0)
非製造業	(来期 ▲32.4 今期比 7.0)
建設業	(来期 ▲41.2 今期比 5.9)
小売業	(来期 ▲42.9 今期比 14.3)
卸売業	(来期 ▲14.3 今期比 28.6)
サービス業	(来期 ▲36.8 今期比 5.3)
その他業	(来期 ▲14.3 今期比 ▲7.1)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

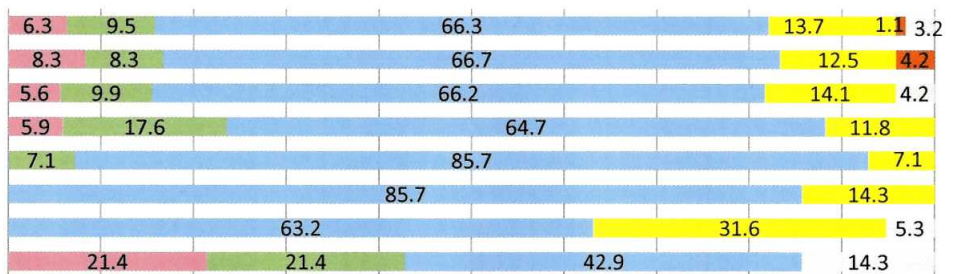
従業員数DI

今期(H30年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 1.1 前期比 ▲11.1)
製造業	(今期 0.0 前期比 ▲7.7)
非製造業	(今期 1.4 前期比 ▲12.5)
建設業	(今期 11.8 前期比 ▲0.7)
小売業	(今期 0.0 前期比 ▲20.0)
卸売業	(今期 ▲14.3 前期比 ▲14.3)
サービス業	(今期 ▲31.6 前期比 ▲60.2)
その他業	(今期 42.9 前期比 62.9)

(従業員数)

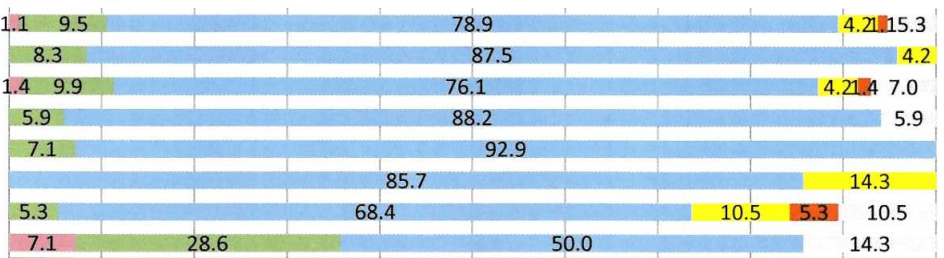
(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(H30年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 5.3 今期比 4.2)
製造業	(来期 4.2 今期比 4.2)
非製造業	(来期 5.6 今期比 4.2)
建設業	(来期 5.9 今期比 ▲5.9)
小売業	(来期 7.1 今期比 7.1)
卸売業	(来期 ▲14.3 今期比 0.0)
サービス業	(来期 ▲10.5 今期比 21.1)
その他業	(来期 35.7 今期比 ▲7.1)



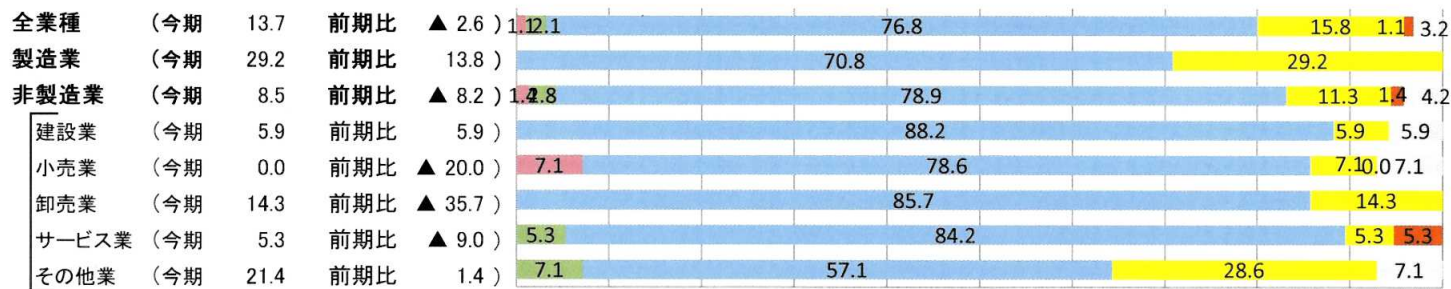
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少

設備DI

今期(H30年1月～6月)のDI値

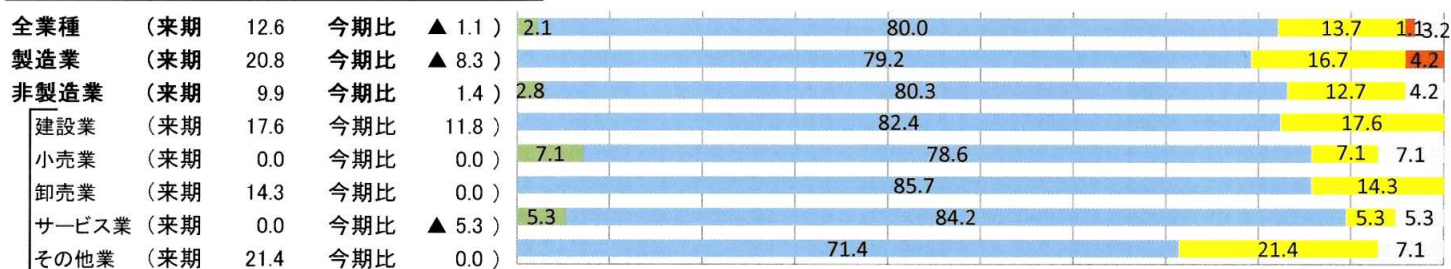
(設備)

(単位:%)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

来期(H30年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

新規設備投資

◆今期(H30年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(平成28年1月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆来期(H30年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	7.0%	5.9%	7.1%	0.0%	5.3%	② 14.3%
需要の停滞	16.7%	② 23.9%	③ 23.5%	① 35.7%	① 42.9%	③ 10.5%	① 21.4%
為替差損	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	③ 7.1%
売上単価の低下	4.2%	15.5%	11.8%	① 35.7%	② 28.6%	③ 10.5%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	9.9%	0.0%	0.0%	③ 14.3%	② 21.1%	② 14.3%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	12.5%	11.3%	5.9%	② 21.4%	③ 14.3%	5.3%	② 14.3%
生産設備の不足・老朽化	③ 25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
原材料の不足	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	② 37.5%	③ 21.1%	② 35.3%	② 28.6%	③ 14.3%	② 21.1%	0.0%
下請負単価の上昇	0.0%	5.6%	③ 23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	4.2%	7.0%	11.8%	7.1%	③ 14.3%	5.3%	0.0%
取引条件の悪化	4.2%	1.4%	0.0%	0.0%	③ 14.3%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	4.2%	4.2%	5.9%	0.0%	0.0%	③ 10.5%	0.0%
購買力の他地域への流出	4.2%	4.2%	5.9%	7.1%	0.0%	5.3%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	4.2%	2.8%	0.0%	0.0%	③ 14.3%	5.3%	0.0%
人件費の増加	4.2%	11.3%	11.8%	7.1%	0.0%	② 21.1%	③ 7.1%
設備の過剰	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	4.2%	4.2%	0.0%	14.3%	0.0%	5.3%	0.0%
店舗・施設の老朽化	8.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	③ 7.1%
従業員・熟練技術者の確保難	① 41.7%	① 33.8%	① 52.9%	③ 21.4%	③ 14.3%	① 42.1%	① 21.4%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	8.3%	7.0%	5.9%	0.0%	0.0%	③ 10.5%	② 14.3%
その他	0.0%	7.0%	0.0%	② 28.6%	③ 14.3%	0.0%	0.0%